

ひまわり

2019年
9月9日
No. 1329

生活協同組合 あいコープふくしま

郡山市安積町日出山1-110-1
Tel 024-956-0011 Fax 024-956-0055
フリーコール 0120-910-408

もくじ

- ① 中高生広島平和交流団 報告
- ② 牛乳性者一人ひとりに 家族がいて 反がいて 未来があつた
- ③ 二人の被害者の訴えに学ぶ。高校生1万人署名ありがとうございました
- ④ ↓ 高校生平和大使帰国。
- ⑤ 生産者を囲むカフェ会・組合員交流会のお知らせ・お醤油Q&A
- ⑥ 生産者からのお便り、現状対応、コープ共済シリーズ
- ⑦ ~ ⑩ ローカル案内、「よんでもカード」、注文控えメモ

ローカル商品のご案内（9月4回）はうしろのページからです ホームページ <http://icoop-fukushima.jp> CO·OP共済に関するお問合せは、フリーダイヤル 0120-50-9431

2019年 中高生広島平和交流団 報告(上)

供養塔の6千人が 私と同じ中学生にショック！

私は中高生広島平和交流団として、広島に行き、平和の尊さ・核戦争の恐ろしさを学びました。

「平和記念資料館」の見学では、皮がむけて目玉がたれている人、背中にものすごいケロイドがある人の写真と絵がありました。



「原水爆禁止世界大会」では、被爆者の体験談や、世界でおこった核戦争の話を聞き、核は人を苦しめている事を知りました。そして、その核は人間が作ったものであり、人間が作ることや使用することを止めたら、核がなくなるという事を学びました。

原爆供養塔への献花で、この塔には7万人のお骨が納められており、その中の6千人が私と同じ中学生という事にショックを受けました。今回広島に行かなければ、この悲惨な現状を知る事が出来ませんでした。とてもいい経験になりました。

（福島四中二年）



2019年8月5日
被爆者
河野 さん



僕は、今回の広島訪問以前に「長崎資料館」で原爆被害の恐ろしさを知りました。

広島の資料館でも、長崎と同じように重々しい空気がのしかかりました。展示物の全てが原爆被害を物語っていて、たくさんの人々の遺品（かばんや服など）とても見続けることが出来ませんでした。

原水爆禁止世界大会では、高校生平和大使や海外の方からの話がありました。二日目は被爆者の話を聞くことができ、とても迫力があって納得しました。こうした被爆者の話を多くの人に聞いて欲しいと思いました。

（福島市 清水中2年）

犠牲者 一人ひとりに 家族 がいて 友 がいて 未来 があった！

8/4(日)～8/5(月)中学生の交流団員と引率事務局の4名で広島を訪問しました。

① 原爆資料館に一歩ると、そこは74年前の広島、8月6日の朝でした。活気ある広島の街並み、幸せそうな日常。しかし一瞬先には廃墟になった焼け野原と苦しみをかく人々の姿がありました。体験していく私たちはタイムスリップし、想像できました。

一人ひとりの被爆の苦しみと被害が遺品とともにありました。

伸一ちゃんの三輪車は印象に残るものでした。3才の伸一ちゃんは庭で三輪車で遊んでいて被爆。全身大けがと大やけどを負い「水…水…」と言ってその日に死りました。お父さんが伸一ちゃんに鉄かごとをかぶせ、天国でも遊べるようにと、三輪車とともに庭に埋めました。

40年たち掘りあひ出すと、伸一ちゃんの遺骨をかぶごと三輪車が残っていました。

こんな幼い子の未来をうばってしまう戦争と原爆を忘れてはいけない、繰り返してはいけないという強い思いだったからだと思います。

実は伸一ちゃんの姉妹、ワオの女の子と1才の女の子もこの原爆で亡いた事を、今回の訪問で知りました。写真の中でほほえむかわいい子どもたちに涙があふれました。14万人の命がうばわれたと言われていますが、その一人ひとりに家族がいて、友がいて悲しい人がたくさんいました。そしてその人自身の未来はもちろん、残された人の未来をも変えていったのです。

「原爆にあっていろから未來！」

② 被爆者の訴えでは、高品健二さんが話されました。

高品さんはお父さんは異国で戦死。お母さんは被爆し、白血病で亡くなり、戦争孤児になりました。浮浪者として生活するマガ「はだしのゲン」と一緒に暮らす。その後、親戚の家に引き取られましたが、「原爆にあっていろから未來！」という理由でつらい日々を送ったそうです。食料難もあって、親戚といえども自分たちの生活がやっとで、他の子を見る余裕もなく、生き残った人の苦しみも知りました。たった一発の原爆が、一瞬で爆発して消えました。しかしその威力で、家も人もその心も壊され、その被害、心の傷は止まずと続き、74年たった今も続いている事に怒りを感じました。福島で起きた原発事故と重なりました。

高品さんは、母の兄のはからいや、人との縁で今は幸せに暮らしているそうです。あと何年生きられるかわからないが、命ある限り訴えていくと言されました。

今回の訪問で改めて学んだことは、戦争も核も、当たり前の日常生活と人間を無差別に壊し、家族の夢も希望も奪ってしまうことです。しかし平和な時代が続いてきたことで、核や戦争の悲惨さを語れる人は少しくなっており、貴重な事実を未来につなげる橋渡しが私たちの役目と考えました。過去の事実に目をそむけず、過去の歴史に学び、伝えていく大切さを強く思いました。

（あいこー専務理事 橋本）

威力を知るための原爆投下に怒り

今回初めて広島を訪問し、事実と正面から向き合えた事で大きな衝撃を受けました。戦争、原爆は良くないものとは知っていましたが、今回行った事で何故良くないのかを考え事が出来、いい経験になりました。一瞬で大勢の人の時間を奪ってしまった現実を原爆資料館内にて見ました。伸一ちゃんの三輪車。中が真っ黒の弁当箱。将来の夢をつづったメモ帳等。多くの無念を目の当たりにして無意識に涙が止まらなくなりました。更に資料館の下を工事で掘ったら、当時の生活用品の品々が出てきて、70年以上たった今でも終わっていない事を知り、福島の放射能問題と同じでいつまでも続していく現実を改めて思い知らされました。

更に驚いたのは原爆投下の目的は威力を知るための実験とお話を伺った時には強い怒りを覚えました。そんな軽い気持ちで非人道的な行為に及んだのかと。多くの命を奪ったのかと思うと戦争の愚かさや虚しさを知りえる事が出来ました。

今回の広島訪問では外国の方も大勢来ていました。国際的に関心が高い事も伺える事が出来ました。世界の方々と手を取り合ってこういう悲惨な出来事は無くしていければと思いました。自分の思いは小さいかもしれません、みんなが集まれば、大きな力になると信じて何ができるかを考えながら前向きに生きていこうと思う事ができた2日間でした。

二人の被害者の訴えに学ぶ

被爆者 高品さん(当時小3年) 爆風で100mも飛ばされる

被爆者の訴え=高品健二さん 小学3年の時に被爆。2.5キロ程離れていたが、100メートル位吹き飛ばされた。ガラスの破片を顔に受け、70年たった今でも痕が残っている。家は粉々、母親は家の柱の下敷きになっていた。夕方、避難所に移動していると、体から皮膚が垂れ下がっている人、眼球が垂れ下がっている人が水を求め近くの川や海に向かって歩いている人が大勢いた。避難所に移動しても医者も薬も無い状況。当時は火傷をした人には水を与えてはいけないとと言われていました。3日後に友人が亡くなり、その日の午後に母親が黒い血を吐き血便が出る。今で言う「白血病」でした。8月12日にきれいな布団で息を引き取った。(きれいな布団で最期と言うのは当時としてはとても幸せな事だった。)母の遺言は「どんなに貧しくてもいいから、人様に後指をされずまっすぐ生きなさい。」その後2カ月程は浮浪者をし、その後父の実家に帰ったが、当時「白血病」はうつると言われていて、肩身は狭かった。20歳位までは荒れた生活をおくった。

生きている限り、核の悲惨さを訴え続けていきたい。どんな小さな事でもいいので、取り組んでいきたい。冷戦時代は6万~7万発あった核も現在は13866発まで減少させている。

動物を焼いた嫌な臭いがした

— 河野キヨ美さん —

爆心地からは35キロ離れた地点にいた。翌日広島市に向かって電車に乗り、広島駅は降りられなかつたので、近くの駅に降りた瞬間動物を焼いた嫌な臭いがした。市内に入つたら死体が至る所にあり、特に川が火から逃れようとする人の群れがそのまま山の様になつた。2,3人の兵隊が川から引き揚げていた。中にはまだ生きている人もいて、「いたい、いたい。水を下さい。」と叫んでいた。

原爆の後は放射能の恐怖に怯えることになるが、当時はそんな事は分からなかった。当時はGHQは原爆を使った事実を隠していた。言つたら逮捕されていた。

大切なのは言葉の力を信じて伝えていく事が大事。

(あいコープふくしま センター長)
佐藤

高校生1万人署名のご協力を 日大東北高校から始めたい!

— 日大東北第69次生徒会から各クラスへのお願い —

赤沼優希さんが、第22代高校生平和大使に任命されました。その活動の一環に高校生1万人署名があります。これは、核兵器廃絶と平和な世界の実現に向け全国の高校生が中心となり活動している署名運動のことです。これは国連欧州本部で永久保存されます。

そこで全校生の皆さんに、ノーベル平和賞の候補にもなった、この署名活動に参加してもらいたいのです。これを機に、核や平和の問題について関心を持ち、深めてもらえたう嬉しいです。この署名が来年も郡山で行われるように、日大東北高から始めたいのご協力をお願いします。

追記: 日大東北高の皆さんのが署名数 828 筆でした。
ありがとうございました。

高校生平和大使 帰国

反核署名 21万筆 提出

福島原発被害を
各国の外交官に！

高校生平和大使 帰国報告会で話す「高校生平和大使」の赤沼さん(16)は、1995年4月に米国が太平洋ビキニ環礁で行つた水爆実験で被曝を受けた。被曝や原発の被害を経験した日本にいるからこそ心を持つていて、さまざまな質問を受けたといい、「原爆や原発の被害を経験しない」と語った。本県からいはい秀英高2年の斎藤帆香さん(16)も参加している。

平和大使23人は8月中旬約1年かけて集めた21万筆以上の反核署名の目録を提出。国連に届けた署名は、今回の分を含め約200万筆に上った。現地では各国の外交官と懇談したり、軍縮会議の本会議を傍聴したりもした。

平和大使の活動は、98年のインドとパキスタンの核実験をきっかけに始まった。今回の大使23人は広島長崎両市の市民団体などが選出した。

核廃絶への決意強調

本県から2人 高校生平和大使

核兵器廃絶を訴える署名をスイス・ジュネーブの国連欧洲本部に提出して帰国した「高校生平和大使」が24日、長崎市で現地での活動を報告した。「核の恐ろしさを訴え、共感を得た」とばくした静岡県焼津市の遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」について現地で紹介したと報告。日大東北高2年の赤沼優希さん(17)は、東京電力福島第1原発事故の影響を説明した。多くの人が関心を持っていて、さまざまな質問を受けたといい、「原爆や原発の被害を経験しない」と語った。本県からいはい秀英高2年の斎藤帆香さん(16)も参加している。



帰国報告会で話す「高校生平和大使」の赤沼さん(16)
日午前、長崎市

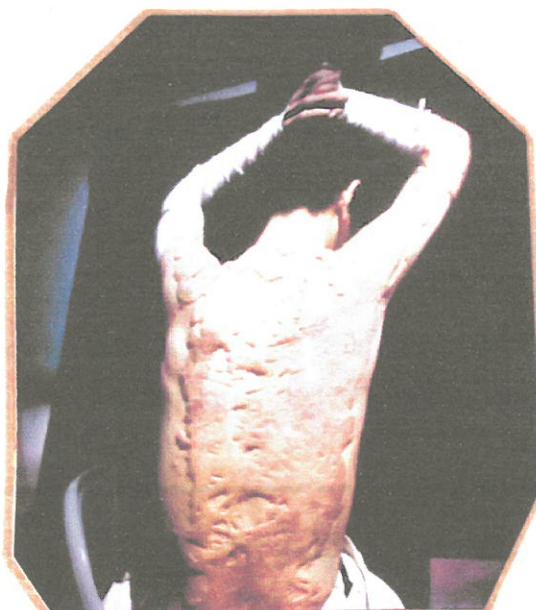
広島の被爆者が出演した 映画『ひろしま』から



米国に配布して…上映されなかった映画 (NHK)

三輪車で遊んでいる時に…

全身に大けがと大やけど。「水…水…」とうめきながら七くなりました。父が三輪車と、伸一ちゃんに金鉄かぶとをかぶせ、一緒に庭に埋めました。



背中と両腕に被爆ケロイド



伸一ちゃん(3才11ヶ月)

生産者を囲む
カフェ会と交流

秋の組合員交流
9月～11月末

組合員とゲストさんで調理と健康に役立つ

鎌田専務とカフェ会

「**醤油**」を学び調理に生かす
麦面つゆ、ゆずぽん、醤油、味見体馬鹿

9月25日(水)

須賀川市東公民館

味見体馬鹿

平田産業・千葉さんを囲んで交流会

「**菜種油**」選び方使い方体験
10月10日(木)

福島市サンライフ福島

大須賀社長とカフェ会

「**花たまご**」こなたに違う！卵の選び方と食べ方
10月31日(水)

郡山市中央公民館

参加費 200円・託児あり(お母さん1人に300円)・お土産あり
9時30分受付～12時15分終了・ゲストさん大歓迎

※ お醤油の四つの効用

① 加熱効果

食欲をそそる香りと色

焼鳥・蒲焼

照り焼き・生姜焼き

など

みりん、あら糖と

合わせてやかま

② 相乗効果

出汁だけでは

美味しいよく

かつあだし、ハコダリ

お吸い物に醤油が

入って旨味が増す。

そばうどんのつゆ、天つゆも

③ 甘みが引き立ち

塩味が和らぐ

甘い煮豆・ソフトクリーム

(丸大豆醤油入り)など

漬物や塩鮭が

有機塩で和らぐ(エイナ)

④ 生臭さを消す

お刺身

まぐろ漬

煮魚

組合員さん

市販品「こいくちしょうゆ」は、甘くていいもの味です。

しかし金兼田醤油は、濃い・しおっぱいでも豆の味がします。

お醤油は調味料ですから、単独に味わうよりも煮物・お刺身・

湯豆腐などにほんの少しひらげて味わうものではないでしょうか。

「ほんの少しひらげて味わうものではないでしょうか。

「ほんの少しひらげて味わうものではないでしょうか。

① カフェ会(「3名」から・希望の方は事務局へ)

調味料・パスちゃん牛乳・ヨーグルト・花たまご
菜種油・練り物・はんぺん・おでん・石けん…

②

9月・放牧パスちゃん・ながめやま牧場(7日)

10月・あいコープみやき・wa!わあまつり(27日)

11月・愛農会・収穫祭(未定)

よつ葉生協・ふれあいまつり(16日)

※ 12月1日(日) 第33回 あいコープまつり(ビッグパレット)

鎌田専務に聞く

お醤油 過去のQ&Aより

組合員さん 「こだわりの麦面つゆ」を砂糖などで作れませんか？
また、原料の「エキス」について教えて下さい。

専務 つゆの甘さはみりんと花見糖です。砂糖は他社と比べても控えています。
砂糖使用なしでも作れますか、美味しい・旨味のバランスが崩れてしまいます。
麦面つゆの原料「エキス」は、鹿児島県枕崎工場で、かつあから作られた
液体の出汁です。



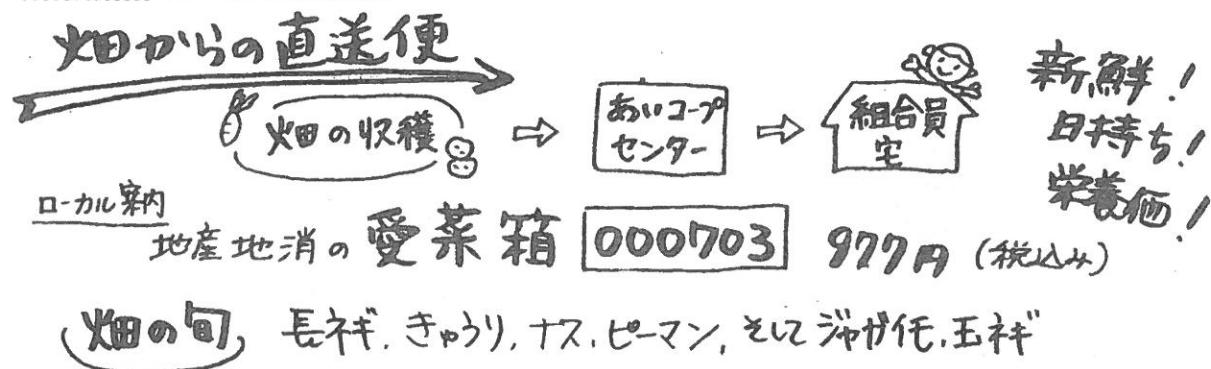
⑤

*生産者からのお便り

自然には勝てない 野菜づくり

天候の話題が多い毎日ですが、私は自然には勝てないなあとつくづく思います。ほとんどの野菜は、その野菜にとって一番良い季節に作付けしています。しかし、去年は大豊作だったカボチャが今年は収穫できそうにありません。スイカに至っては全て枯れてしまいました。7月、8月が低温と長雨で雑草が繁茂して地面を這う蔓性の野菜は成長が不十分で負けてしまったようです。これくらいのことであげてはいられません。1年を通せば何かはあります。これらの秋野菜に良く育つもらうようにと、手入れや種播きに励んでいます。

石井 希



<測りて安心・測りて対処>

272週目

単位:ベクレル/kg

測定日	場所	品目	量目	①下限値以下		測定時間
				cs137/cs134	cs137/cs134	
2019年 8月27日	福島市 田野町	しそ	150g	①	13.5 10.7	7200s (2H)
8月28日	須賀川市 (川中島)	桃	730g	①	3.08 2.81	"
8月28日	須賀川市	なし	830g	①	2.69 2.45	"

* ローカルの桃は“不検出”！

肥料は雑草を育てる！

ネオニコ殺虫は脳の神経をマセ

愛農会の田んぼ見学に子ども達を連れて参加しました。

最初に聞いた栽培方法やマーク、子ども達にも率先して免強になりました。そして普通に栽培される作物には、10成分もの薬品が使われていることにもビックリしました。

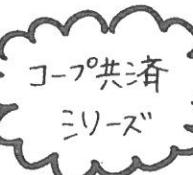
石沢さんのお話では、「無農薬を始めて3年は我慢で6年目からやっと」という言葉や「肥料は雑草を育てる」など。大内さんからは「ネオニコ系の農薬はミツバチの脳の神経を麻痺させて巣に帰れないように」と聞くことができ、色々免強になりました。

田んぼ見学では子ども達が大はしゃぎ!! おみをお借りしてたくさんのザリガニを取りました。ザリガニは多すぎると稻を切ってしまう厄介者ということで、3人で10匹を自宅へ持ち帰りました。帰りにはきゅうりと人参ジュースもいたじりて、家で食べました。きゅうりはすごく大きかったのに甘みがあってとっても美味しいかったです。子ども達は“まだ田んぼに行きたい！”と言っていました。

(郡山市)

ケガで初めての入院・お金が…

でも共済に入ってるから大丈夫！と思えた！



今回は息子の自転車でのケガでお世話をになりました。子どもは2人いるのですが、初めての入院で手術を担当する医師が“わからず”色々と不安でした。その中に金銭面もあり、入院に必要な息子のものはもちろん、下の子の延長保育に自分の食事代、テレビカード色々な料金がかかると実感しました。でも共済に入ってるからいくらか大丈夫！と思えたのは気持ち的に助かりました。2週間の入院・4回の通院で高速道路を利用していったので、通院保障もありがたかったです。申請書から入金までもスムーズでした。(須賀川市 W.Mさん)